

# 街づくり計画部長目標

街づくり計画部長 遠藤 弘樹(えんどう ひろき)



当部の仕事をもって貢献しているSDGsの主なゴール



街づくり計画部の仕事

街づくり計画部は、都市計画課(交通政策室を含む)、市街地整備課(土地利用推進室を含む)、開発指導課、建築指導課の4課及び狭山ヶ丘区画整理事務所、所沢駅西口区画整理事務所の2事務所で構成され、所沢市総合計画や所沢市都市計画マスタープランに基づく適正な土地利用の誘導、市街地整備の推進、地域公共交通の充実などを主な仕事としています。

街づくり計画部の令和6年度の目標

街づくり計画部は、地域をつなぎ人と出会う公共交通の一層の充実や人の交流を育むことで、安全・安心で快適に住み続けられる居住空間とともに、市街地においては賑わいと利便性の向上をもって魅力ある街づくりを目指します。また、土地利用転換と連動した土地区画整理事業により、環境に配慮した都市基盤整備を促進し自然と調和した災害に強い街づくりを進めます。

目標達成に向けた重点事業

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	充実した地域公共交通への見直し事業	安全・安心で快適に移動できる街の実現のため、持続可能で充実した地域公共交通への見直しを進めます。	<p>ところワゴンは、柳瀬地区、富岡地区での実証運行を継続し、各地域の意見を取り入れながら、生活に根付いた公共交通とすることを目指します。</p> <p>ところバスは、路線の新設や見直しを行い、利便性を高めるため、令和7年度以降の再編の検討を進めます。また、バスロケーションシステムを導入し、利便性の向上を図ります。</p> <p>高齢者が外出して活動する機会を広げるため、ところバス、ところワゴンの高齢者の運賃無料化に向けた検討を進めます。</p>	
2	魅力ある街なか空間創出推進事業	「所沢駅周辺グランドデザイン」に示すビジョンの実現に向け、魅力ある空間づくりを継続するとともに、持続的な街づくりを推進するための組織(エリアプラットフォーム)の設立を支援します。	<p>市民等が既存の公共空間を利活用し易くするため、関係部署との組織横断的な取組を進めます。</p> <p>これまでに集まった街づくりの人材の育成と、地域との連携を深めることを目的に、官民連携してビジョン実現を目指す具体的な取組を協議・調整する「エリアプラットフォーム」の設立に向けた勉強会を実施します。</p>	

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
3	土地利用転換推進事業	<p>定住人口・交流人口の増加、地域の活性化をより一層図るため、地域の特性や周辺環境との調和に配慮し、計画的かつ適正な土地利用を進めます。</p>	<p>北秋津・上安松地区は、引き続き土地区画整理組合に対し助言・支援し、道路などの基盤整備を今年中に完了させます。</p> <p>○若松町地区は、同様に助言・支援し、換地処分の公告を今年中に完了します。</p> <p>下安松東地区は、同様に助言・支援し、事業計画の変更を今年中に認可するとともに、下水道工事等を適正に実施させます。</p> <p>上安松・下安松西地区は、引き続き準備組合に対し土地区画整理事業の実施に向け助言・支援を行うとともに、市街化区域編入に向けた県との調整等の準備を進めます</p> <p>産業団地創出を目指す三ヶ島工業団地周辺地区は、引き続き土地区画整理組合に対し助言・支援し、調整池工事等を適正に実施させます。</p> <p>関越自動車道所沢インターチェンジ周辺地区は、組合設立準備会の結成に向けて地権者に対し仮同意書の収集を行います。</p> <p>松郷工業団地周辺地区は、引き続き周辺の土地利用状況を踏まえながら情報収集に努めます。</p>	